

2013年 8月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|    |    |    |    |    |    |    |

9月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
|    |    |    |    |    |    |    |
| 29 | 30 |    |    |    |    |    |



## 「個」を見る目に 世界平和の芽が育つ

まさに参議院選挙の日のこと。私は留学生日本語弁論大会に来賓として出席していました。ここ5、6年出席していますが、毎年思います。

もっとたくさんの日本人に聞いてもらいたいなあ、と。

今年は中国、タイ、ベトナムの学生が話しました。皆日本が好きで来たのですが、まずは日本の現実に幻滅するようです。「コンビニでおじさんがエッチ本を立ち読みしている。えーっ、ありえない!!」とか「バイト先で、自分の仕事でないことまで、しかもいつも命言ばかりで、もう言うこと聞きたくない!」とか…それでも、「郷に入っては郷に従え」と、周りの日本人に支えられながら、現状を受け入れ、次第に日本になじみ、日本を理解していつているのです。

でも、これって異国だから起こるのでしょうか?

日本人同士でもありうる話ではありませんか?

彼女たちの一人が言いました。

「私たちは、パレスチナ衝突を解決することもオバマに直接ものをいうこともできない。でも、私たちが日本の文化、日本人を理解し、いい印象を持って帰ったら、そのように話すでしょう。だから、私たちがちゃんと学ぶことが中国と日本だけでなく、世界平和に役立つと思っています。日本の方々も『信じられない!』と思った時には、それで終わらせないで、これが普通なんだ、文化が違うんだから、と認めてください。そして、わからないことは、どうぞ聞いてください。」

つまり、外国人をどう受け入れるかは、日本人同士でお互いをどう受け入れるか?ともつながっている。その他人を受け止めるということは、自分自身を受け止めるということでもある。つまり、他人を通しながら、自分自身に目を向けること、それは、世界平和の芽を育てていることになるのですね。

今回の参議院選挙では、当選者の中くらいの票を集めながら、落選した候補者がいました。また、地域によっては、一人一票の重みが5倍近く違ってくるという選挙方法を違法と指摘し「選挙無効」を提訴した弁護士団もいます。

目先のことにとらわれず、細やかでも真心で「個」を見る目、大事にする目が国や政府を変える時が来るのではないのか?

私は、それを願わずにはおれません。

しっかりと自分を 目の前の人とを見る目、受け止める力を育てるべきときではないのでしょうか? 大人も子どもも。

### 教室のある日

- ・ 教室は、木曜日と金曜日にしぼりました。但し、9月1週目は少し違います。
- ・ 8月には夏休みを取らず、9月の2週目をお休みさせていただきます。しばらくは、このペースでご協力いただきますようお願い申し上げます。



ありの読書会…10:00~12:30 参加費：300円

「どの子もよく生きようとしている」という人間観で「教育」という視点から見直しています。次は福沢諭吉の自伝「福翁伝」を読みます。

★ 参加希望の方は事前にお知らせください。(毎月場所が変わりますので)

☺ 縁側の日…7月をもちまして、月例会は終了いたしました。



すぎなママの日…しばらくお休みいたします。

保護者の方々から、「やりたい」という声が上がった時にまた考えたいと思います。

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子★S.L.S. すぎな☆

TEL/FAX: 059-222-9077

E-mail: [haru\\_sugina1044@wave.plala.or.jp](mailto:haru_sugina1044@wave.plala.or.jp)

ホームページ: <http://www.sugina3.com/index.htm>

ブログ: [http://blog.goo.ne.jp/s\\_l\\_s\\_sugina/](http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/)



## 少しずつ他の子と同じ空間へ

K君（小1・特別支援学校）が、初めてS.L.S. すずぎにきたのは、今年の3月末でした。

全く初めてのタイプで、お母さんからお話を聞かせてもらいながら暫く様子を見せてもらいました。

初日は、ちょっとした隙に私の自宅に続く扉を開けて自宅のトイレに一目散！（どうして、トイレの場所がわかるんだろう？）まあ、その早いこと！その日だけでも、自宅のトイレで用を足すこと、4回。その度にしっかりとお小水は出るのですから、この回数が必要なんですわ^\_^;

K君は、初めての環境の観察に忙しく、とても席につくことはできません。

やっと席に着くと、今度は鉛筆がなかなかうまく持てません。習字教室（4月開始）で鉛筆は持っていますが、そもそも手を動かすのが難しいのでしょ

う。また、すぐ鉛筆の芯をポキッと折ってしまいます。書道教室でも折っている、ということでした。

やっと書き始めると、「1、2」と書いては、パチパチと手を叩いては、周りをきょろきょろ。

一日目は、幼-1のプリントの中の「1、2、3」で終わりました。

でも、初めて字を書いたそうなので、〇！さて、次週からどうしましょう？

### ●教室のトイレの何が嫌なのかな？

どうして、教室のトイレは行かないのでしょうか？ある仕草にふと思いました。ひょっとしたら、教室のトイレのマットの感触が嫌い？（独特の感性で好き嫌いがはっきりする場合があります。）

そこで、マットを取り払って、木の板を置きました。すると、入った！！そして、だんだん、教室のトイレに行く回数が増えていきました。

### ●「鉛筆は大事」。

鉛筆の芯を折るのは、なぜでしょう？

様子を見ていると、折った芯を指でつまんで、それで何かを必ず描きます。私も真似をしてみると、なるほど・・・とてもなめらかなでいい感触！これがしたかったから折っていたのかもしれないなあ。

そこで、その芯を箱に保管し、折りそうになると、そこから芯を出して渡してみました。K君はそれで描きます。また箱に片づけてから、言いました。

「鉛筆は大事。鉛筆はおらないでね」。

だんだん折ろうとする動作は、減っていきました。

### ●「プリントをしてから」

「ここは、プリントをするところ。まずは、プリントをする」ということを体験的に知ってもらわな

ければなりません。こういうことは、最初が肝心！

ここで「K君のコーヒー好き」が生まれました。

「プリントをしてから、コーヒーをいれようね」と言うと、ずっと席に着くのです。

こうして、他のことをしようとしても「プリントしてから」と言うと、席に着くようになりました。

数字も「1、2、3、4、5」とふえました。

5月からは、家ででの宿題も始めました。

- ・毎日する
- ・一週間のデータと教室に来た時の様子から見えてくることに一つ一つ向き合っていく。

という了解のもと。つまり、他の子と全く同じです。

ただし、しばらくは他の子と一緒ににはならない曜日でお母さんと一緒にすることにしました。

家でお母さんと始めてみると、「幼-0」のプリントを全部（数字の0～9）書いてこれました！

そして、7月初めには、声をかけると次のことができるようになりました。

- ・私の自宅にはいかない。（トイレも教室で）
- ・来たら定位置にかばんを置いてプリントを始める
- ・立ち歩かないでプリントをする
- ・宿題のプリントをファイルに入れて終わる。

そこで、7月19日（金）、初めて他の生徒さんと一緒にやる、ということにトライしました。

他の子を気にしながらも、いつものようにプリントを終わらせることができました。

そして、他の人と一緒にコーヒーを飲んで終了！これからどんな学びが待っているか楽しみです！